



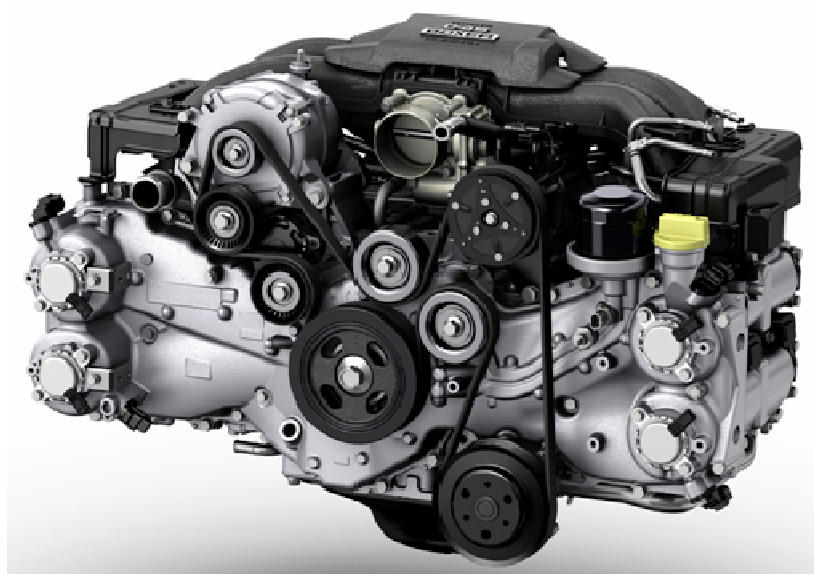
2012年12月14日

SUBARU BRZ のエンジンが米国ワーズ社の「10 ベストエンジン」 賞を受賞

このたび、SUBARU BRZ に搭載されている「FA20」型 2.0ℓ水平対向 4 気筒エンジンが、米国の自動車専門メディアであるワーズ社の Ward's Auto World 誌において 2013 ワーズ「10 ベストエンジン」賞 (Ward's 10 Best Engines) に選出されました。スバルとしては、2003 年、2009 年に「EJ25」型 2.5ℓターボエンジンが受賞して以来、3 年ぶり 3 度目の受賞になります。

「FA20」型エンジンは、超低重心パッケージングにより優れたハンドリング性能を実現した、SUBARU BRZ の運動性能を実現するため専用開発された軽量、コンパクト、低重心が特長のエンジンです。高回転まで気持ちよく吹けあがるスポーツエンジンとして、ボア×ストロークは 86 mm×86 mm のスクエアに設計され、さらにトヨタ自動車の直噴技術「D-4S」(燃料噴射システム) を組み合わせることで、自然吸気エンジンでありながら 1 リッターあたり 100 馬力の出力と優れた燃費性能を両立しました。また今回の受賞では、SUBARU BRZ が装備の充実したモデルでも約 25,000 ドルで購入できる点も評価されました。

ワーズ 10 ベストエンジンは毎年米国で販売される量販車に搭載されているエンジンの中から選出され、販売価格が 55,000 ドル以下の車両に搭載されていることが条件です。選考委員は、エンジンの出力、技術、燃費、振動、騒音、競争力などについて評価を行います。



SUBARU BRZ 搭載「FA20」型エンジン